

福井県立恐竜博物館映像資料制作業務委託プロポーザル
『赤い大地に眠る恐竜 ～タイの恐竜研究最前線～【仮題】』

業務内容仕様書

福井県立恐竜博物館

下記仕様にに基づき、テーマ「赤い大地に眠る恐竜 〜タイの恐竜研究の最前線〜」（仮題）の映像資料制作を実施すること。ここに記載されていない事項であっても、現場の状況に応じ、映像制作に必要な業務については、協議の上、委託金額の範囲内で内容を変更できるものとする。

1 シナリオ制作

- (1) 撮影（制作）内容、時間、ストーリー、ナレーションなどを詳しくまとめたものをシナリオとして制作すること。
- (2) 小学校高学年が十分理解できるような内容とするために、シナリオやテロップなどを工夫すること。
- (3) 現地の地形等の映像、研究者のインタビューなどをテンポよくまとめ、必要に応じ、アニメーションやCGなどの解説映像を作成して盛り込むこと。
- (4) インタビューを含め、ナレーション案を作成すること。

2 撮影

- (1) 映像制作に必要なロケを行う。アの撮影地における撮影は必須とする。そのほか、独自の企画があれば提案すること。取材には恐竜博物館職員（以下「監督職員」という。）が同行するものとする。
ア タイ王国（ナコーン ラチャシーマ県・コラート化石博物館、コーンケン県・シリントーン博物館、プーノイ化石発掘現場、プーウィアン恐竜博物館）での現地映像、研究者インタビュー、標本映像の収録（9月上旬～10月上旬、現地4日以上）
- (2) 映像制作に必要な資料、展示の撮影および研究者のインタビュー収録を行う。
ア タイ王国産の標本および展示標本（展示室）
イ 福井県立恐竜博物館職員および福井県立大学教員のインタビュー
※恐竜博物館所蔵の標本資料（骨格標本、背景画等）の撮影には使用料は不要。
- (3) 科学番組として、視聴者を惹きつける骨格撮影方法やインタビュー方法等を取り入れること。（インタビューの企画がある場合、対象が当館職員であれば、謝金などは発生しない。）
- (4) 機材等については、業務用デジタル等、通常の業務用機器仕様とする。
- (5) 可能であれば海外取材の際には、適切な現地コーディネーターと緊密な連絡を取り、取材・撮影をスムーズに進めるための基本的な準備作業を行うこと。
- (6) 海外取材における通訳が必要な場合、受託者において手配すること。英語圏では監督職員が通訳を行う。

3 アニメーション・イラスト・CG等の制作

視聴者の理解の手助けとなるアニメーション等の制作を行う。以下の点でその内容は館職員との協議のうえ基本的に新規に制作するものとする。（シナリオ参照）

(1) インTRODakション/アニメーション制作

- ・ 恐竜の骨格や生態復元画に効果を付したアニメーションを制作する。
- ・ 恐竜の有名産地であるアメリカ大陸や中国などを地図上で強調する効果を付したアニメーションで示す。
- ・ 今回の映像の中心となるタイ王国について、世界地図全体からタイにフォーカスするアニメーションを制作する。

(2) タイの恐竜/アニメーション制作

タイで見つかっている恐竜13種について紹介するアニメーションを制作する。

(3) コラート化石博物館/アニメーション制作

- ・ 恐竜博物館とコラート化石博物館との共同発掘調査で見つかった恐竜について強調する効果を付したアニメーションを制作する。
- ・ シャムラブトルの系統樹について説明するアニメーションを制作する。

4 既存資料の著作権処理など

映像等の資料の一部として使用するため、既存映像、写真等の著作権処理を行う。製作者への許可などの手続きが発生することがある。

- (1) アニメーション映像で使用する恐竜に関する写真、イラスト
- (2) アニメーション映像で使用する写真・画像
- (3) ロケ地の解説映像で使用する既存写真・画像
- (4) 環境復元画

5 環境復元画

- (1) 映像で使用する環境復元画は下記の画家に依頼し、受託者において手配すること。
ア 府高航平（イラストレーター・古生物復元画家）

6 ナレーション

- (1) ナレーションを入れること。

7 字幕

- (1) 日本語および英語の字幕を入れること。

8 編集作業

- (1) 15分程度（±2分は許容範囲とする）の放映時間とすること。
- (2) 場面に適したBGMを入れ込むこと。

- (3) 画面サイズは16：9とする。
- (4) 科学番組として魅力ある映像処理などを取り入れること。

9 複製作業

- (1) 完成品の納品は以下のものとする。
 - ア DVD（3部）（市販のDVDデッキで再生可能なもの）
 - イ MPEG2データファイル（CD：3部）
 - ウ MPEG4データファイル（ハイビジョン対応：DVDまたはBlu-ray Disc）
- (2) MPEG2データは、下記のデコーダカードで再生でき、福井県立恐竜博物館VODサーバおよびVOD端末上で完全動作すること。
 - ・機器型式 FMV-MPD203
 - ・ビデオ MPEG2 MP@ML（ISO/IEC 13813-1）
 - ・オーディオ MPEG2（MPEG1 レイヤ2）ISO/IEC 13813-3（ISO/IEC 11172-3）
 - ・システム MPEG2 MP@ML（ISO/IEC 13813-1）
プログラムストリーム
- (3) MPEG4データは、以下の様式とすること
 - ・1080p.30fps
 - ・ビデオ H.264
 - ・オーディオ AAC-LC
- (4) 上記の完成品とは別に、ロケで撮影した映像素材の複製物一式を納品するものとする。納品メディアについては、館職員と協議すること。

10 試写および微修正

- (1) 納品以前に恐竜博物館において試写を最低2回行うものとする。
- (2) 試写の場で指摘を受けた箇所については可能な限り修正を行うこととする。

11 その他

- (1) 納入される成果物に関する著作権法上の権利等は、基本的に福井県立恐竜博物館に帰属させること。なお、恐竜博物館が許可した場合には、恐竜博物館内外での上映やビデオ販売などを可能にできるよう留意すること。
- (2) シナリオの内容変更による撮影物・場所、制作物内容・規格の変更は館職員と協議の上、予算内で可能なものとする。
- (3) ロケで撮影した映像素材は、ハイビジョン対応画質で恐竜博物館の今後の事業において無償で利用できるものとする。
- (4) 撮影・制作に要する経費（CG制作、県立恐竜博物館の指定する監督職員等にかかる経費を含む）は、すべて受託者の負担とする。

- (5) 映像資料全体を通しての質・仕様については、当館既存資料と同等程度を確保すること。
- (6) 以上全てについて、映像制作に必要な作業を適切に行うこと。